

## 平成28年度 第1回 教育課程編成委員会議事録【こども環境科】

日 時 平成28年5月27日（金）15:00～16:40

場 所 学校法人 北海道学院 釧路専門学校 5階 第5講義室

出席者 酒井 恵 （釧路市私立保育園連合会 副会長・釧路まりも学園 旭保育園 園長）  
工藤 映美 （釧路市私立幼稚園連合会 理事・認定こども園よしの 副園長）  
諫山 邦子 （北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授）  
種市 司 （釧路専門学校 校長）  
阿部 みつゑ （釧路専門学校 副校長）  
武藤 篤訓 （釧路専門学校 こども環境科学科長）  
氏原 陽子 （釧路専門学校 こども環境科 教員）  
若生 みゆき （釧路専門学校 事務主任）

配付資料 ○議案書・委員名簿

○平成27年度 第2回 教育課程編成委員会議事録（こども環境科）

○平成27年度 第2回 教育課程編成委員会議事録（介護環境科）

○平成28年度 学校運営の構造

○平成28年度 釧路専門学校 学校概要について

開会にあたって

- ・挨拶（校長 種市）
- ・新委員の紹介と委嘱状の交付（校長 種市）

議事

1) 委員の紹介および教職員の紹介（吉村）

- ・配布資料 委員名簿 参照

2) 前回議事録の報告と確認（校長 種市）

3) 今年度の教育課程の重点説明

①全体説明（副校長 阿部）

さまざまな体験を通して、コミュニケーションを図って欲しい。専門学校でしか学べないようなことを学生に伝えていきたい。子どもや高齢者が何を望んでいるか察する力など、人とのかかわりの中でその力を身に付け、人として素晴らしい学生を育てて行きたい。（配布資料 平成28年 学校運営の構造 参照）

②こども環境科（武藤）

- ・子ども・子育て支援制度に、どのように対応して行くのが今年度の基本的課題。今年度から「地域型保育」などのカリキュラムを新設した。先日開催した、ムーブメント教育リカレント講座で多方面の方にご参加頂いた。今後も他大学と共催予定の講座がすでに計画されているので推進して行きたい。

- ・教育理念でもある環境を大切にした教育を意識しており、1年次から生物学・自然体験活動等を履修している。今後も、さらに環境に重点を置いた教育編成も必要と考える。
- ・前回会議の補足として、実習報告会に実習先関係者の参加はありがたい。その為に、個別指導・報告内容の改善を行い、多くの関係者に参加頂けるような取り組みをしていく。
- ・配属先の施設に、見学やボランティアに行かせて頂きたいと思っている。授業のない日・期間の実習などを充実させていきたい。

### ③学校概要（吉村）

- ・配布資料 平成28年度 釧路専門学校 学校概要について 参照

### 4) 今後の推進日程の確認（校長 種市）

- ・配布資料 平成28年度 学校運営の構造 参照

### 5) 委員の皆様からの意見交換、質疑応答等

#### 【学校側から報告】 配布資料 平成28年度 釧路専門学校 学校概要について 参照

- ・今年度の就職状況について、首都圏に進出学生の背景として、住宅手当などを配慮してくれる事も理由の一つと考える。いずれは故郷に帰る希望があるが、都会に憧れもあるようだ。（氏原）

#### 【工藤委員から質問】

- ・正規での雇用比率はどれくらいなのか。

#### 【学校側から回答】

- ・幼稚園は全員正規であった。一方、保育園は臨時が多かった。（氏原）

#### 【酒井委員から質問】

- ・実習について、評価基準など受ける側で配慮すべき点があれば教えて欲しい。

#### 【学校側から回答】

- ・共通の議題として「ここができれば、どの評価に…」という基準を連合会で議論を進めていきたい。市内他大学と協力し、少しずつ構築している最中。（武藤）

#### 【諫山委員から質問】

- ・通信での教育手段は考えていないのか。働きながら資格取得を目指す人もいると考える。

#### 【学校側から回答】

- ・本校附帯事業部にて、保育士特例講座（通信教育）を行っている。（武藤）

以上  
(記録：若生)

## 平成28年度 第1回 教育課程編成委員会議事録【介護環境科】

日 時 平成28年5月27日（金） 15：00～16：40

場 所 学校法人 北海道学院 釧路専門学校 5階 第5講義室

出席者 小野 信一 （社会福祉法人 釧路市社会福祉協議会 事務局長）  
伊東 義光 （日本介護福祉士会北海道支部根釧地区支部 支部長  
道東勤医協 ヘルパーステーションすこやか 所長）  
種市 司 （釧路専門学校 校長）  
阿部 みつる （釧路専門学校 副校長）  
渡邊 千華子 （釧路専門学校 介護環境科学科長）  
吉村 寿人 （釧路専門学校 教務主任・介護環境科 教員）  
若生 みゆき （釧路専門学校 事務主任）

配付資料 ○議案書・委員名簿

○平成27年度 第2回 教育課程編成委員会議事録（こども環境科）

○平成27年度 第2回 教育課程編成委員会議事録（介護環境科）

○平成28年度 学校運営の構造

○平成28年度 釧路専門学校 学校概要について

開会にあたって

- ・挨拶（校長 種市）

議事

1) 委員の紹介および教職員の紹介（吉村）

- ・配布資料 委員名簿 参照

2) 前回議事録の報告と確認（校長 種市）

3) 今年度の教育課程の重点説明

①全体説明（副校長 阿部）

さまざまな体験を通して、コミュニケーションを図って欲しい。専門学校でしか学べないような事を学生に伝えていきたい。子どもや高齢者が何を望んでいるか察する力など、人とのかかわりの中でその力を身に付け、人として素晴らしい学生を育てて行きたい。（配布資料 平成28年 学校運営の構造 参照）

②介護環境科（渡邊）

- ・連携企業5施設と交流学习をする準備が進んでいる。
- ・アクティビティケア・セミナーおよびフォーラムを11月に予定している。
- ・7月23日、ALSの当事者が来釧し特別講義を予定。

③学校概要（吉村）

- ・配布資料 平成28年度 釧路専門学校 学校概要について 参照

4) 今後の推進日程の確認 (校長 種市)

- ・配布資料 平成28年度 学校運営の構造 参照

5) 委員の皆様からの意見交換、質疑応答等

【小野委員から意見・質問】

- ・道外に就職する学生に、出来れば地域に残って欲しいと伝えて欲しい。
- ・介護環境科1年は、新卒学生よりも委託学生の割合が多いが、どのように感じているか。

【学校側から回答】

- ・親元を離れて自立したいと思っている様子。首都圏でも介護人材が少ない為、道外から来校しプレゼンテーションを行う企業もあり、来校企業に就職を決めた学生がいた。受け入れ態勢が充実している事も都会に出る理由ではないか。(渡邊)
- ・近年は介護を希望する学生が少ない。実務者研修が始まったことで、実務を積む事と、学校に通う事との違いは何かが問われるところである。(渡邊)
- ・委託生に関しては、社会経験があるからこそ、新卒学生とうまくいく場合も多々あると感じている。(吉村)
- ・世の需要が高い職種であるにもかかわらず、学生数等に結びついていない。さまざまな問題があると思うが、学生数が伸びないはずがないと思っている。広報活動も積極的に行っている。何か助言を頂ければありがたい。(校長 種市)

【伊東委員から意見・質問】

- ・介護福祉士はどこの施設も足りていない。建物はあるが、入居者は少ないという現状。理由は、スタッフが少ないから入居制限をしている為。お金がなくて学校に行けないという高校生に対応する支援はあるのか。高校訪問はどうやっているのか。

【学校側から回答・報告】

- ・高校生数が減っている事もあり、高校側から「希望する学生はいない」と言われる。(阿部)
- ・「介護は大変」と考えられているように思う。同じように思う保護者の方や高校の先生もいると思うので、どのように理解・納得してもらうかが課題。(校長 種市)
- ・北海道の修学資金が復活し、数枠頂いた。また、人材確保の為、修学資金を設けている自治体もある。釧路市には現在ない。(渡邊)
- ・通信教育手段として、実務者研修が始まった。受講者は増えている。(渡邊)

以上  
(記録：若生)